

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No.ASSP-01-0003

USB ASSP Dack信号の制限事項及び、 データバスの補足説明

1. 対象品種

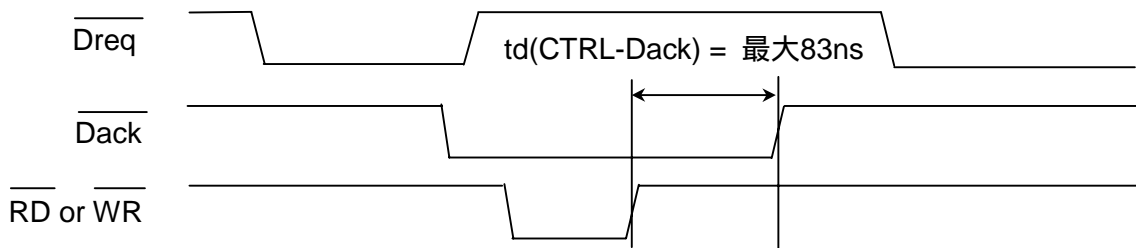
M66290AGP、M66290AFP

2. Dack信号の制限事項

1ワード転送モード(アドレス48h : DMA_FIFO選択レジスタのD15ビット :
MODE="1"設定)によるDMA転送時のタイミング必要条件として

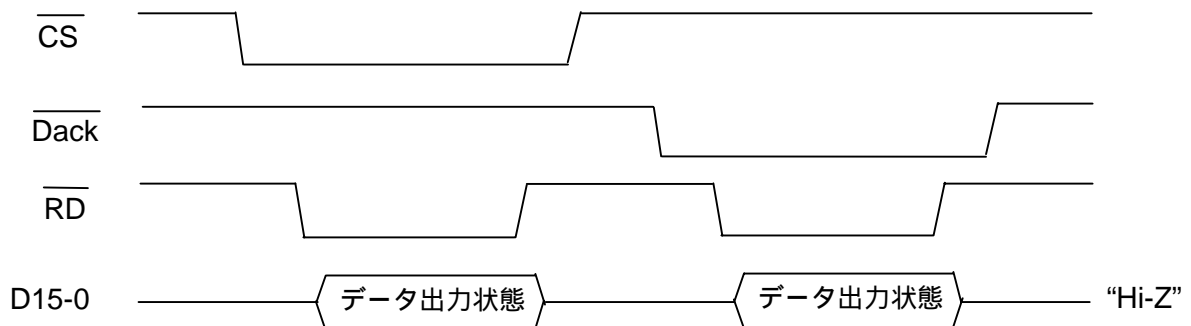
" $td(CTRL-Dack) = \text{最大}83\text{ns}$ " を追加致します。

RD又はWRの立上がりからDackの立上がりまでを最大83nsにおさめて下さい。



3. データバスの補足説明

データバス(D15-0端子)は、 $\overline{RD} = "L"$ と $\overline{CS} = "L"$ 又は $\overline{Dack} = "L"$ の組み合わせにより出力状態になります。



以上